

宮本哲也式算数パズル

※著作権がありますので、真似て作ってみたものです。間違いがあったらごめんなさい。

ルール

- ①マスの中には1～3の数字が入ります。
- ②どの列(たて、横とも)にもには1～3の数字が1つずつ入ります。
- ③書かれている数字は太線で囲まれたマスの和(足した数)です。

こういったものはダメです。ルール②の1列に1つずつというのに非かかっています。

主に②のルールを意識してもらえると取り掛かれると思います。

この3つのルールを基に解く算数パズルです。

6	2	1	3	7
2	3	3		
2	1	1		5

では解いてみてください!!!

5		4
4		
	5	

解説、解答は次のページにあります。

<ステップ1>

まず、4は「2+2」「1+3」でつくることができます。しかし、「2+2」で考えるとルール②一列に1~3が一つずつというのを破ってしまうため、「1+3」になることがわかります。しかしまだどちらが1でどちらが3かはわかりません

次に5を考えます。5は「2+3」でつくられます。この時右の列を考えると、4を作るために、上に1と3があることとルール②から、その下には「2+3」の2が来ることがわかります。そして2の横が3になります。

5		4
4		
	5	
	3	2

<ステップ2>

次に左の4を考えると水色の列にすでに3、2があるため残りの1が4左下に来ることがわかります。そして和を4にするために上に3が入ります。

5		4
4		
3		
1	5	
	3	2

<ステップ3>

次に5と水色の列を考えます。水色の列から上には残りの2が入ることがわかります。そして和を5にするには「2+2+1」となります。ここで残りの2と1がどう入るかを考えます。もし2が上にあると、横に2があるのでおかしいです。よって上に1その下に2となります。

5		4
2	1	
4		
3	2	
1	5	
	3	2

<ステップ4>

最後はルール②を使って、1と3を書き、和が4であることを確認して終わりです

5		4
2	1	3
4		
3	2	1
1	5	
	3	2